

令和元年度



11月1日は『おかやま教育の日』

優良実践普及事業

優良実践校概要

岡山県教育委員会

優良実践校取組内容等一覧表(小学校)

| | 学校名 | 校長名 | 児童数 | 取組内容等 |
|---|----------------|---------------------|-----|---|
| 1 | 倉敷市立 琴浦東小学校 | 荻野 雄三 (おぎの ゆうぞう) | 271 | <p><u>徹底反復学習による学力向上の取組</u></p> <p>全国学力・学習状況調査の結果が全国平均を下回ることが多く、特に基礎・基本の定着に課題が見られていた。また、若手教員の比率が高く、教科指導や学級経営等に課題があった。</p> <p>このため、徹底反復学習の実施に向けた体制づくり、校内研修等による指導の共通理解、先進校への教員派遣視察、外部講師の招聘、積極的な授業公開、管理職による見守りなどを徹底し、全教職員でベクトルを揃えた学校ぐるみの実施体制の構築を図った。</p> <p>こうした取組の結果、児童の集中力や学習意欲を養い、基礎学力の定着につなげることができ、学力も大きく向上した。また、集中力等の向上は授業進度の向上にもつながり、学期末の復習時間を十分に確保できるようになった。</p> |
| 2 | 赤磐市立 桜が丘小学校 | 羽原 敬一 (はばら けいいち) | 341 | <p><u>児童主体の活動を推進し、自己肯定感を高める取組</u></p> <p>授業に集中できにくい児童、不登校傾向の児童等、個別の支援を必要とする児童が少なくない状況にあった。</p> <p>このため、児童が主体となった活動を推進し、自己肯定感を高める取組として、授業では、ユニバーサルデザインの考えを基に、「全員が、主体的に参加できる授業づくり」を行うとともに、学校行事、委員会活動等では、「児童に任せる」を重視し、児童が主体となった取組を推進した。また、「働き方改革」にも積極的に取り組み、時間外業務の縮減はもとより、教材研究の時間の確保等、教員が指導により専念できる環境づくりを進めた。さらに、登録者100名を超えるボランティアの方から、学習、登下校の見守り等の支援を受けており、地域で子どもたちを見守り、育む体制も確立されている。</p> <p>こうした取組の結果、「みんなで『深め合う』授業づくり」、「児童主体の活動による特別活動の活性化」等が推進され、「自分たちの学校を自分たちの力でよりよくしていこうとする意識の高まり」や「不登校傾向の児童の減少」等につながっている。</p> |
| 3 | 矢掛町立 三谷小学校 | 高橋 薫 (たかはし かおる) | 72 | <p><u>プロジェクトチームによる児童の人間関係づくりと学力向上</u></p> <p>小規模校であることから、切磋琢磨や自力解決しようとする意識等に欠け、学力の低下も見られていた。また、教職員は職務分担が個別になりやすく、円滑な連携を行いにくいという課題があった。</p> <p>このため、「思いやり」「確かに学ぶ子」「心と体をきたえる」「開かれた学校」の4つのプロジェクトチームのいずれかに全職員が参加し、チーム主体で取組を進めるとともに、三谷小学習スタンダードの作成、話し合い活動など伝え合う機会の設定、異学年交流の充実、児童の自力解決を促すための教職員の見守り姿勢の徹底等により課題の解決を図った。</p> <p>こうした取組の結果、意見を出し合いながら主体的に活動できる児童が増えるとともに、学力の定着が進んだ。また、プロジェクトチームによる課題解決を通じ、教員の同僚性の向上やOJTの充実等、全教員が協働して取り組む体制を構築した。</p> |

優良実践校取組内容等一覧表(小学校)

| | 学校名 | 校長名 | 児童数 | 取組内容等 |
|---|-----------------|----------------------|-----|---|
| 4 | 吉備中央町立 吉川小学校 | 渡邊 教行 (わたなべ のりゆき) | 26 | <p><u>活用力の育成を目指した宿題や学期末テストの工夫</u></p> <p>児童数が急激に減少して今年度から完全複式学級となるなど、固定化した人間関係の中で切磋琢磨し合うような刺激が少ない状況の中、学力について、活用力の問題を苦手とする児童が多いという課題があった。</p> <p>このため、学力向上に向けた組織的な取組として、その日の授業に合った宿題を出し、活用問題には必ず解説をして返却するとともに、まとめて自分の考えを書かせる指導を行った。また、公民館と連携した補充学習を実施した。学期末には、児童の課題に応じた手作りの活用力問題のテストを実施し、苦手部分の改善を図った。</p> <p>こうした取組の結果、全国学力・学習状況調査で平均正答率が全国平均を大きく上回るとともに、家庭学習習慣の確立について成果が見られている。</p> |

優良実践校取組内容等一覧表(中学校)

| | 学校名 | 校長名 | 生徒数 | 取組内容等 |
|---|----------------|----------------------|-----|--|
| 1 | 倉敷市立 東陽中学校 | 川上 忠良 (かわかみ ただよし) | 799 | <p>学力向上及び生徒の自己肯定感の向上に向けた取組</p> <p>授業改善等を進める一方で、生徒の自己肯定感の低さが課題であった。 このため、「岡山型学習指導のスタンダード」に基づいた授業改善に学校全体で取り組むとともに、家庭学習の充実に向け、「家庭学習のスタンダード」を活用した家庭学習指導の見直し、様々な校内・教室掲示の充実や自主学習に対する校長表彰等に取り組んだ。また、定期的な教職員間の情報共有を活性化し、一人一人の生徒への細やかで丁寧な声掛け等の工夫を積極的に行うとともに、岡山大学の指導を受けた「サクセスフル・セルフ心理教育プログラム」に基づく授業実践に継続的に取り組んだ。</p> <p>こうした取組の結果、生徒の学習意欲の向上や家庭学習時間の大きな増加とともに、全国及び岡山県学力・学習状況調査において、全学年で国語・数学とも全国・県平均を上回った。また、「自分には良いところがある」、「将来の夢や目標を持っている」と回答する生徒の割合が県平均を超えるなど、生徒の自己肯定感が向上した。</p> |
| 2 | 笠岡市立 笠岡東中学校 | 藤丘 真治 (ふじおか しんじ) | 337 | <p>生徒の主体的な取組の推進と保幼小中の連携による落ち着いた学習環境づくり</p> <p>数年前まで、校内外において多くの生徒指導上の課題を有していた。 このため、生徒会を中心に、生徒の主体的な活動を推進することとし、生徒会主導の「スマイルズ&サンクスカード」「フレンドリーカード」でよい行いを認める活動等を通じ、自己有用感を高め、望ましい行いを促進するとともに、「全国いじめ問題子どもサミット」や「OKAYAMAスマホサミット」等に参加し、SNS利用に伴う課題の解決に向けた取組を進めている。また、校区内の保幼小中高で連携したあいさつ運動など、相互につながり合い高め合う取組を実施するとともに、保幼小中が連携して「すこやかプラン」を作成し、基本的生活習慣の定着に向けて取り組んだり、月別生活目標の統一を図るなど、幼児期からの校区一体となった取組を推進している。合わせて、学習習慣の確立に向け、生徒の課題提出状況を定期考査の結果と併せて保護者に示すなど、家庭との連携を強化している。</p> <p>こうした取組の結果、暴力行為発生件数が数年間で大幅に減少するなど学習環境が改善するとともに、生徒の自己肯定感や家庭学習習慣について改善が見られた。</p> |
| 3 | 備前市立 吉永中学校 | 木村 俊一 (きむら しゅんいち) | 99 | <p>主体的に取り組むことができる生徒の育成</p> <p>落ち着いた学習環境にあり、地域のボランティア活動や行事などに参加する生徒が増えているが、生徒はやや主体性や粘り強さ、競争心に欠けるところがあるとともに、学力やメディアコントロールに課題があった。</p> <p>このため、生徒が自分の将来像を描き、その実現に向けて主体的に取り組む態度を養うことを目的とし、キャリア教育の視点を取り入れた立志証や行動目標の策定の取組を行った。また、生徒会を中心に「OKAYAMAスマホサミット」や「全国いじめ問題子どもサミット」等への参加、生徒が主体となった委員会活動や小学校へのメディアに関する出前授業の実施など、積極性や自己有用感の向上を図るための体験活動を推進した。さらに、学校独自の生活ノートを作成し、家庭でのスケジュールを記入させ、毎日、家庭での生活習慣の意識付けに取り組んだ。</p> <p>こうした取組の結果、生徒会を中心とする、生徒が主体となつての活動が活性化した。また、家庭学習習慣についても改善が見られた。</p> |

優良実践校取組内容等一覧表(中学校)

| | 学校名 | 校長名 | 生徒数 | 取組内容等 |
|---|---------------|----------------------|-----|---|
| 4 | 早島町立 早島中学校 | 小野 秀明 (おの ひであき) | 352 | <p>キャリア教育の視点と関連づけた、ESDの資質・能力の育成に向けたカリキュラムの充実</p> <p>将来への具体的な夢や理想をもち、実現に向け努力する気概の育成や、地域への誇りや地域の人との関わりを高め、持続可能な町づくり・人づくりに向けて、グローバルな視点で課題解決に取り組む探究心やチャレンジ精神、実行力を培うことが課題であった。</p> <p>このため、学習指導要領の3つの観点とESDで育成すべき資質・能力とを整理し、キャリア教育の視点を踏まえて3年間を見通した単元学習プログラムを構築した。また、心理検査結果を全教員で共有し、学年を越えた声かけや個別支援などにより、落ち着いた教育環境を整備した。合わせて、地域企業等と連携し、い草を用いた商品開発・販売体験等や地域イベントの企画・運営への参画を通じて、生徒の自ら課題を発見・解決する意欲・態度や、地域への誇りや愛着、思考力・表現力や自己肯定感を育成した。</p> <p>こうした取組の結果、ESDの視点とキャリア教育の視点を関連づけた探究活動を確立するとともに、生徒の社会人としての自覚や他者と協力する態度、社会貢献意識が高まった。</p> |
| 5 | 奈義町立 奈義中学校 | 中村 雅徳 (なかむら まさのり) | 126 | <p>落ち着いた学習環境を土台とした学習習慣形成の取組</p> <p>小規模校で、きめ細やかな指導の実践や幼小中一貫教育を推進し、生徒は落ち着いた学校生活を送っている。しかし、学習意欲が低い生徒が多く、学年により学力状況・学習習慣に差が見られ、家庭学習時間が全国平均を下回る状況が続くなどの課題があった。</p> <p>このため、時間割の工夫等による少人数指導の実施とともに、全生徒の主体的な授業参加に向けて、授業づくりの工夫(ペア学習・グループ学習等)やICT機器の活用等により授業のユニバーサルデザイン化に取り組んだ。家庭学習でも、意識向上を目指したノー部活動Dayの家庭学習時間競争、内容の充実を目的として自主学習ノートの取組(模範ノートの掲示やeラーニングの活用)を実践している。また、基礎学力向上を目指し、町営塾(数学・英語)との連携やeラーニングを活用した補充学習に取り組んでいる。</p> <p>こうした取組の結果、家庭学習計画の作成状況や家庭学習時間が全国平均を大きく上回るなど、生徒の自律的な学習習慣の形成が図られている。</p> |

優良実践校取組内容等一覧表(中学校区)

| | 学校名 | 校長名 | 児童生徒数 | 取組内容等 |
|---|-----------------|----------------------|-------|---|
| 1 | 美作市立 英田中学校 | 忠政 勇之 (ただまさ ゆうし) | 61 | <p>地域との連携協働による、落ち着いた学習環境と学力向上に向けた取組</p> <p>保幼小中と同集団で人間関係が固定化し、学級が落ち着かなくなると長期間にわたり影響が残る環境にある中、保護者からの学校批判が表面化し、学校経営に困難な時期があった。また、特別な支援が必要な児童生徒の割合が高く、学力面でも、全国学力・学習状況調査結果で、全教科で全国及び県平均を下回るとともに、家庭学習時間にも課題があった。このため、中学校区学校運営協議会を発足し、学校運営や子どもの安全確保等に積極的に地域が関わる体制を構築した。また、協同的探究学習モデル理論に基づく授業研究を通じ、特別な支援を要する児童生徒を含め相互に認め合い、学習意欲等の向上を図る取組を行った。小中合同で中学生作のスマホ利用法に関するカルタで学ぶ機会の設定等により、学習習慣づくりを行った。</p> <p>こうした取組の結果、保護者や地域からの協力的な学校運営への参画を得られるようになった。全国学力・学習状況調査結果では、学力と学習習慣の改善が見られた。また、心理検査の結果、学級の規範意識項目や社会の規範意識項目の向上が見られた。</p> |
| | 美作市立 英田小学校 | 畝本 昭則 (うねもと あきのり) | 86 | |
| 2 | 新庄村立 新庄中学校 | 柴原 克彦 (しばはら かつひこ) | 19 | <p>小中一貫教育の充実による学校づくり</p> <p>小規模校で児童生徒が新たな価値観に出会う機会や、教員が切磋琢磨する相手が少ないという課題がある。また、全国学力・学習状況調査結果で、小学校が県平均を大きく下回っている。このため、小中学校の教員が協働し、相互乗り入れによる教科指導の充実や複式の解消、授業の進め方等の統一、合同研修等による指導力向上の取組を推進した。また、小中でそれぞれ実施状況のチェックと評価等を行い、家庭学習への意欲付けを行っている。地域学習としては、小中学校を通じたカリキュラムに基づく「ふるさと新庄学」を実施し、郷土愛を育成している。中1ギャップの軽減としては、小学校5・6年の中学校の部活動への参加とともに、教科横断だけではなく教科の縦を結ぶ教育計画を考慮した「9年間のカリキュラムマネジメント」により、小中のつながりを意識した授業を実施している。こうした取組の結果、小中一貫教育の充実が図られ、小学校高学年から中学校にかけての、9年間の後半で学力を伸ばしている。また、小中学校とも家庭学習時間が高い水準にあるとともに、自己肯定感や学校生活に対する満足度も高くなっている。</p> |
| | 新庄村立 新庄小学校 | 原田 寛治 (はらだ かんじ) | 44 | |
| 3 | 久米南町立 久米南中学校 | 近藤 美沙子 (こんどう みさこ) | 106 | <p>小中学校が連携した学習習慣形成の取組</p> <p>小中学校とも小規模校で落ち着いた環境にあるが、近年、家庭の教育力が低下しており、学年や各家庭等で学力の定着状況に差が見られることが課題となっている。このため、全児童生徒と保護者並びに全教職員のアンケート調査結果を基に、小中学校で連携した学習習慣づくりを推進することとした。個人懇談等で「久米南町家庭学習のすすめ」を用いた保護者の意識啓発、町独自の自主学习ノート「ぐんぐんノート」を発達段階に応じて三種類(低学年、中・高学年、中学生)作成して活用、中学校生徒会を中心に「久米南中学校区スマホサミット」を開催し、メディア使用の実態調査結果発表や課題を投げかける寸劇上演、児童生徒及び保護者代表によるグループ演習、中学校区スマホ宣言の決定等を行った。</p> <p>こうした取組の結果、家庭学習時間は中学校では県平均を上回り、小学校でも増加傾向にあるとともに、家庭学習の計画を立てている児童生徒の割合は、小中学校とも県平均を上回った。また、児童会・生徒会を中心にスマホサミットを運営することで、学習規律や規範意識等の確立とともに、児童生徒の自主性の育成が図られた。</p> |
| | 久米南町立 弓削小学校 | 河本 弘志 (こうもと ひろし) | 59 | |
| | 久米南町立 誕生寺小学校 | 西村 恭子 (にしむら きょうこ) | 49 | |
| | 久米南町立 神目小学校 | 犬飼 建介 (いぬかい けんすけ) | 59 | |

これまでの優良実践校の取組はこちらから！

優良実践普及事業

<http://www.pref.okayama.jp/page/535051>

頑張る学校応援事業優良実践校ポータルサイト

<http://www.edu-ctr.pref.okayama.jp/ganbarudb/index.html>

県内の教育関連情報をタイムリーに発信中！

岡山県教育委員会公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/okayama.pref.kyoiku/>